

うきは市分散型アート展 「UKIHA DENKEN ART MONTI 開催のご案内

福岡銀行地域共創部では、魅力ある地域を創造するため「地域が抱える課題解決」 や「地域経済の活性化」に主体的に取組んでいます。

今回はうきは市で開催される「UKIHA DENKEN ART MONTH」をご紹介し ます。

邸)」を活用したアー 割と、明治~大正期の往時の様子 て表現されたうきは市を「観る. です。「アート」という媒体を通 屋敷」と「みなも(碓井邸・堀汀 築100年を超える古民家「鏡田 統的建造物群保存地区」にある、 を色濃く残す「筑後吉井重要伝 催されます。江戸時代から続く町 年1月から2月にかけて「UK IHA DENKEN ART MONTH」が開 そのようなうきは市で、2023 トイベント

と九州 ともの"、"土地と自然"、"歴史と ど、多くの観光資源を有するまち 今に伝える"白壁の街並み"な ら湧き出る良質で豊富な地下水 戻してくれます。 が、日常に埋もれた感性を呼び 文化"が です。古くから連綿と続く、,人 や名水、棚田、そして往時の姿を の「食」、こうした自然が育む森 富な水資源のもとに生産される "フルーツや野菜、 福岡県うきは市は、耳納連山 織り成す風景と体験 の大河筑後 加工品"など 川などの豊

でみてはいかがでしょうか。 この機会にうきは市に足を運ん モーション支援を担っています。 告の配信など、本イベントのプロ 委託を受け、一Bankマーケ 福岡銀行地域共創部が当社から を活用して実施する事業です。 観光の復興に向けた「地域の稼げ きは市、福岡銀行と連携し、観光 創出を目指して、地元事業者であ から観て、知ることができるイベ ティングによるターゲティング広 る看板商品の創出事業」の補助 庁が実施する地域経済を支える る株式会社tsumugiがう ントとなっていますので、是非 うきは市の営みを新しい角度 本イベントは、うきは市の魅力

ない日常の風景にあるうきは 視点で作品を観ていただき、何気 ことを知っていただくだけでな ことで、地域外の方にうきは市 企画となっています。 魅力を再発見していただける 地域の方にもいつもと違った







イベントの詳細は、 公式WEBサイトを ご覧ください。

福岡銀行地域共創部 山下 祐紀

UKIHA DENKEN ART MONTH

アートを通してうきはを「観る」

UKIHA DENKEN ART MONTHは、「筑後吉井重要伝統的建造物群保存地区」の中にある建物を活用し、分散型で開催する アートイベントです。

会場となる2つの建物はどちらも築100年を越える古民家で、この土地の歴史と物語を紡いできました。

本イベントでは、「アート」という媒体を通して表現されたうきはを「観る」ことで、地域外の方にうきはのことを知ってい ただくだけではなく、地域の方にもいつもとは違った視座で作品を観ていただき、何気ない日常の風景にあるうきはの魅力 を再発見していただきたいと思います。





鏡田屋敷

会期:2023年1月7日(土)~2月5日(日)

定休日:月曜日(祝日の場合は翌日)

開館時間:11:00-16:30 入場料:500円

〒839-1321 福岡県うきは市吉井町若宮113-1 *駐車場は市営の無料駐車場をご利用ください。



鏡田屋敷Facebook



みなも

会期:2023年1月7日(土)~2月26日(日)

定休日:火曜日·水曜日

〒839-1321 福岡県うきは市吉井町1302

*各部屋に参加アーティストの作品が展示されます。 宿泊予約は公式サイトもしくは電話にて承ります。



みなも公式サイト

展示アーティスト



佐野 直



生島 国宜 Ixima Kuniyosi



喜多村 みか Kitamura Mika



富澤 大輔 Tomizawa Daisuke

碓井邸101: 佐野 直

展示アーティスト

碓井邸102: 佐野 直、生島 国官、喜多村 みか、富澤 大輔

碓井邸103:富澤 大輔 碓井邸104:生島 国宜 堀江邸201:喜多村 みか

連携イベント

下記の地域でも伝統的建造物群保存地区内で、アートや工芸、地域 の食が楽しめるイベントを開催しています!ぜひ九州の伝建地区を 回ってみてください。



DENKEN WEEK IZUMI 2023 会期:2023年2月4日(土)~2月12日(日)

場所: RITA 出水麓 宮路邸 鹿児島県出水市麓町18-35



公式Instagram



DENKEN WEEK KOJIRO 2023 会期:2023年1月28日(土)~2月5日(日) 場所:長崎県雲仙市国見町 神代小路



公式Instagram

「Layoverレポート」展



「Layover」展ではこれまで2021、2022年 に、日本とコロンビアの作家同士が作品を互 いの国に送り合い、展示を行ってきました。 交流展の中で、昭和初期の日本からコロンビ アへの移民の多くが福岡県浮羽郡(南部筑後 川沿岸の中農層)出身者であることが分かり ました。今回、うきは市で「Layoverレポー ト」展を開催し、これまでの経緯や今後の展 望を発表します。

会期中イベントやワークショップも開催を予 定しております。詳細情報は、鏡田屋敷 facebookをご覧ください。